

# みき通信

くぼたみき 活動報告

第26号 2013年1月10日

発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

## 民意の行き場を奪ったのは誰!?

「自公圧勝」と報じられた今回の選挙結果を、皆さんはどう感じられたでしょうか。残念ながら日本共産党は、9議席から8議席へと1議席減という結果でしたが、民主がダメなら自民へと有権者は動いたのでしょうか？

実際は、自民は政権を追われた前回より、比例で219万票、小選挙区で166万票減らしながら300近い議席を得るといふ、民意とはかけ離れた結果なのです。

このような結果がなぜ生まれたのでしょうか。それは①国民を裏切った民主党への怒りと批判などが投票率の低下を生み、相対的に自民党を浮上させた。②比較第1党が議席を独占する小選挙区制の害③巨大メディアの報道姿勢によるものです。

マスメディアの選挙報道について「民主と自民・公明、それに『第3極』と称するいくつかの保守政党をベースに選挙を描きだしている」「すぐに政権にかかわらない政党は意味がないかのような『政権の枠組み』報道に終始している」と、日本ジャーナリスト会議は異例の世論誘導を批判する緊急アピールを出しました。

みき通信でも、報道が公正でないことを伝えてきましたが、メディアの政権の枠組みや議席予測の報道は目に余るものでした。

政治を変えたいという「民意の行き場」をふさぎ、他に選択肢のないかのように世論を誘導するメディアは選挙後も変わる様子がありません。

原発など平和と生命にかかわる問題をどう解決していくのか。すべてはこれからです！ 1票を投じておしまいではなくメディアの流す情報に振り回されず、しっかりと、声を上げて行きましょう！！

## 皆さんと力を合わせて頑張ります

くぼたみき

一人でもがいていた議員活動でしたが、昨年1月、共産党議員団として一歩踏み出し、今年は私自身折り返しの年となり、全力で頑張る覚悟です。今年もよろしくお祈りします。

安倍政権に期待し、年明けに株価上昇で「景気回復？」と明るいとも取れるニュースが流れました。安倍政権は今まで成功したことがないデフレ対策を行い、経済を立て直す、と言います。物価が上昇し、企業が儲かれば賃金が上がり景気が回復する。分かりやすい構図で、雨だれ方式とか言われますが、なぜ一度も成功しないのか。企業が儲かっても賃金に反映されていないから。これも分かりやすい結論です。

東日本大震災より1年10ヵ月、被災された方が2度目のお正月を迎えられました。復旧・復興は遅々として進みません。復興予算の規模は23年度から5年間で19兆円を投じ、その半分以上の10兆5000億円は復興増税として所得税や10年間住民税に1000円が上乗せられ財源となります。

復興予算とは何か。大震災の傷跡を復旧する。被災者の暮らし、被災企業を立て直す。このようなことに使われると思っていましたが実際は被災地とは関係のない事業にもつぎ込まれています。

争点の一つの原発政策で「原発ゼロ」を公約した政党が小選挙区で競合し、結果として原発を容認する自民党が政権を握ることになりました。報道では経済への対策が一番重要と結論づけています。大型公共事業が復活します。また、古い型の原発は造らないが、新しい安全な原発を作っていくといひます。これは国民が望んでいた答えなのではないでしょうか。

民意を反映すべき選挙ですが、一票の格差是正もされないまま、この結果は、正しい民意の反映なのではないでしょうか。

復興、教育、社会保障、経済、憲法。どこへ向かっていくのでしょうか。

今年が、平和で笑顔あふれる一年でありますように。

第1回議会は2月14日から始まり、25年度予算案を中心に審議されます。  
本会議、各委員会も傍聴できます。多くの方の傍聴をお待ちしています。